

公共施設の 最適化構想

令和3年～22年度



公共施設の最適化構想

公共施設の総量縮減を図るため、本市で、今後 20 年間に更新予定*の施設について、各プロジェクトに割り当てた最適化構想を策定します。

1 最適化構想の策定方針

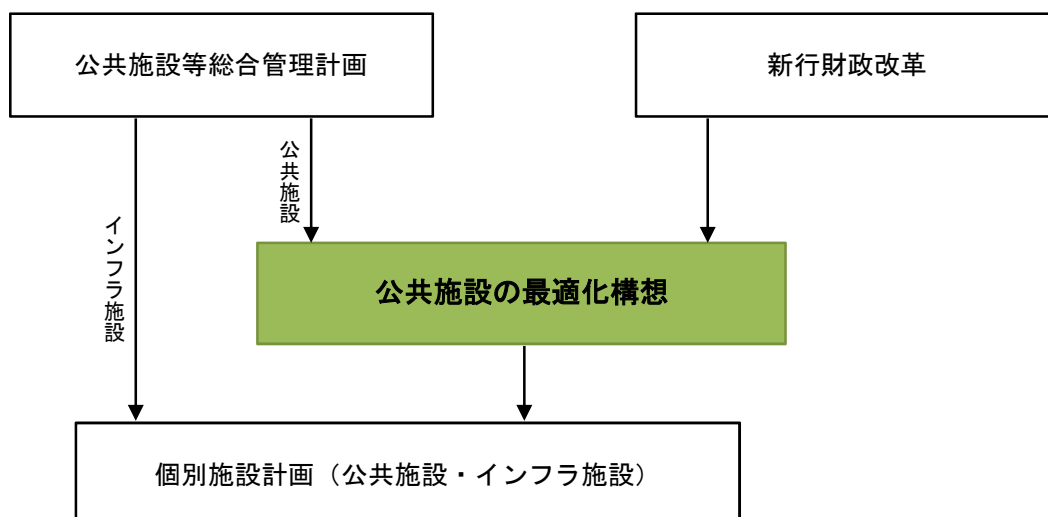
(1) 現状の課題

- 公共施設等の老朽化対策には、多額の経費が見込まれますが、本市は、既に人口減少局面に入っており、更なる少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加等により、厳しい財政状況が想定されます。こうした状況を踏まえると、持続可能な行政サービスの維持・向上を図るためには、今ある全ての公共施設を保有したまま、更新を続けることは事実上困難な状況です。
- 総務省は、平成30年（2018年）2月27日付で「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を改訂し、同日付で事務連絡「公共施設等総合管理計画の更なる推進のための留意点について」を発出し、総合管理計画の充実等を示しております。また、同年4月の「公共施設等総合管理計画の更なる推進に向けて」では、総合管理計画に基づく個別施設計画の策定の必要性や令和2年度頃までの策定目標が示されました。
- 本市においても、速やかな個別施設計画の策定を目指してきたところですが、公共施設の総量縮減を図るためには、より実効性を伴った計画を策定する必要があり、闇雲に施設分類ごとの計画を策定しても、施設の総量縮減に繋がらないばかりか、むしろ更新に係る必要コストが増大する可能性があります。
- より実効性を伴った個別施設計画を策定するためには、各施設の更新時期、規模、場所、用途、利用実態等を勘案し、組織横断的な取組の中で、施設の統廃合等を進める戦略的な考え方が必要となります。また、単に統廃合等を進めるのではなく、実行した場合の効果額等をしっかりと見極めた上で、検討をする必要があります。

(2) 公共施設の最適化構想

ア 公共施設の最適化構想の位置づけ

- こうした現状課題を解決し、公共施設の総量縮減を推進するために策定するものが「公共施設の最適化構想」となります。

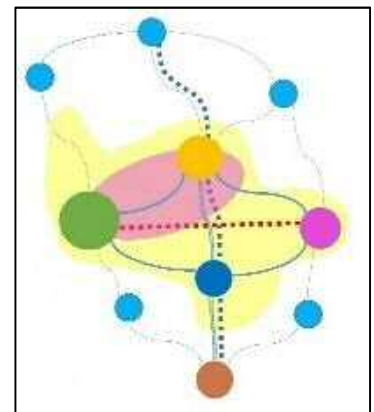


イ 最適化構想の策定方針

- 施設カルテ等により、今後 20 年間に更新予定の施設を抽出し、更新時期、規模、場所、用途、利用実態等から統廃合等の再配置を検討する目安を「プロジェクト」として規定するものとします。なお、各プロジェクトは、必要に応じて、プロジェクト間での相互の連携やさらに小さなプロジェクトへの分割も考えられます。

ウ 最適化構想の実施方針

- 各プロジェクトは、対象施設の更新時期にあわせて、施設所管課等によるプロジェクトチームを構成し、詳細の検討を進めるものとします。
- 各プロジェクトの詳細の検討にあたっては、プロジェクトに係る費用総額とその後の運営費等が、「芦屋市公共施設等総合管理計画」第 2 章で試算した各施設に将来必要となる更新費用と運営費等をあわせた総額を比較し、効果額を算出するものとします。
- 対象施設の統廃合・複合化を検討するにあたっては、エリアマネジメントの視点や市全体における当該施設の役割が何かという視点を持って、進めるものとします。
- 統廃合等の具体的なプラン等を検討するにあたっては、市民ワークショップや事業者向けのサウンディング等を実施し、利用者や事業者のニーズを把握します。
- 事業の実施及び管理運営にあたっては、PPP/PFI 等により民間活用を積極的に行なうことで、更なる費用の縮減を図ります。
- 各プロジェクトの具体化にあわせて、該当施設に係る個別施設計画の策定又は修正を行ないます。



全体&エリアマネジメントのイメージ

(3) 各プロジェクトの概要

ア 打出教育文化センターと春日集会所の更新時期にあわせた再配置及び打出公園との一体的整備

老朽化が進む 2 施設は、大規模改修が必要であるが、利用圏域が重複しており、施設の機能統合、ICT の導入等による効率的な施設管理を進めることで、施設の総量縮減と維持管理費の縮減を図るとともに、隣接公園との一体的整備により、魅力ある施設へのリニューアルを行ないます。

イ 学校園施設とスポーツ施設等の更新時期にあわせた再配置等

概ね 20 年後の山手地区 3 小学校(山手・朝日ヶ丘・岩園)の児童数は、1 小学校相当の減少が見込まれており、財政負担等を勘案した当該エリアの将来的な学校施設の再編は不可避であり、市民プール等の更新時期にあわせて、戦略的に再配置を検討する。同様に、園児数の減少にあわせた幼稚園施設の再配置も検討します。

また、概ね 20 年後の宮川・打出浜小学校の児童数は、現在の 2 小学校の合計の 3 分の 2 程度への減少が見込まれ、建替えの際には児童数を勘案した規模縮小等が必要です。

ウ 文化施設等の更新時期にあわせた再配置

市民センター、美術博物館及び谷崎潤一郎記念館の 3 文化施設の老朽化に伴う更新時期にあわせた再配置を検討し、施設の総量縮減を図ります。また、三条分室・三条デイサービスとして活用している施設は、更新時期にあわせた規模見直し等を検討します。

エ 本庁舎の更新時期にあわせた体育施設等の再配置

本庁舎北館等の更新時期にあわせた体育館・青少年センターの再配置を行ないます。なお、

庁舎機能の再配置にあたっては、新行財政改革（令和 3 年～）による必要床面積の縮減、民間資金の活用や市所有に拘らない管理運営手法等の導入を検討します。

オ シーサイドタウンのまちづくりと下水処理場の更新にあわせた学校園施設等の再配置

シーサイドタウンの高層住宅地区周辺では、パイプライン廃止や下水処理場の更新時期にあわせた学校園施設やその他の施設の再配置を行なう中で、まちづくりの見直しを検討し、施設の総量縮減を図ります。

概ね 20 年後の浜地区 2 小学校(潮見・浜風)の児童数は、1 小学校相当の減少が見込まれており、財政負担等を勘案した当該エリアの将来的な学校施設の再編は不可避です。また、更新時期には、市全体の中学校の生徒数が 3 分の 2 程度に減少することが見込まれるため、小中学校施設の効率的配置の検討が必要です。

カ 市営住宅等の統廃合

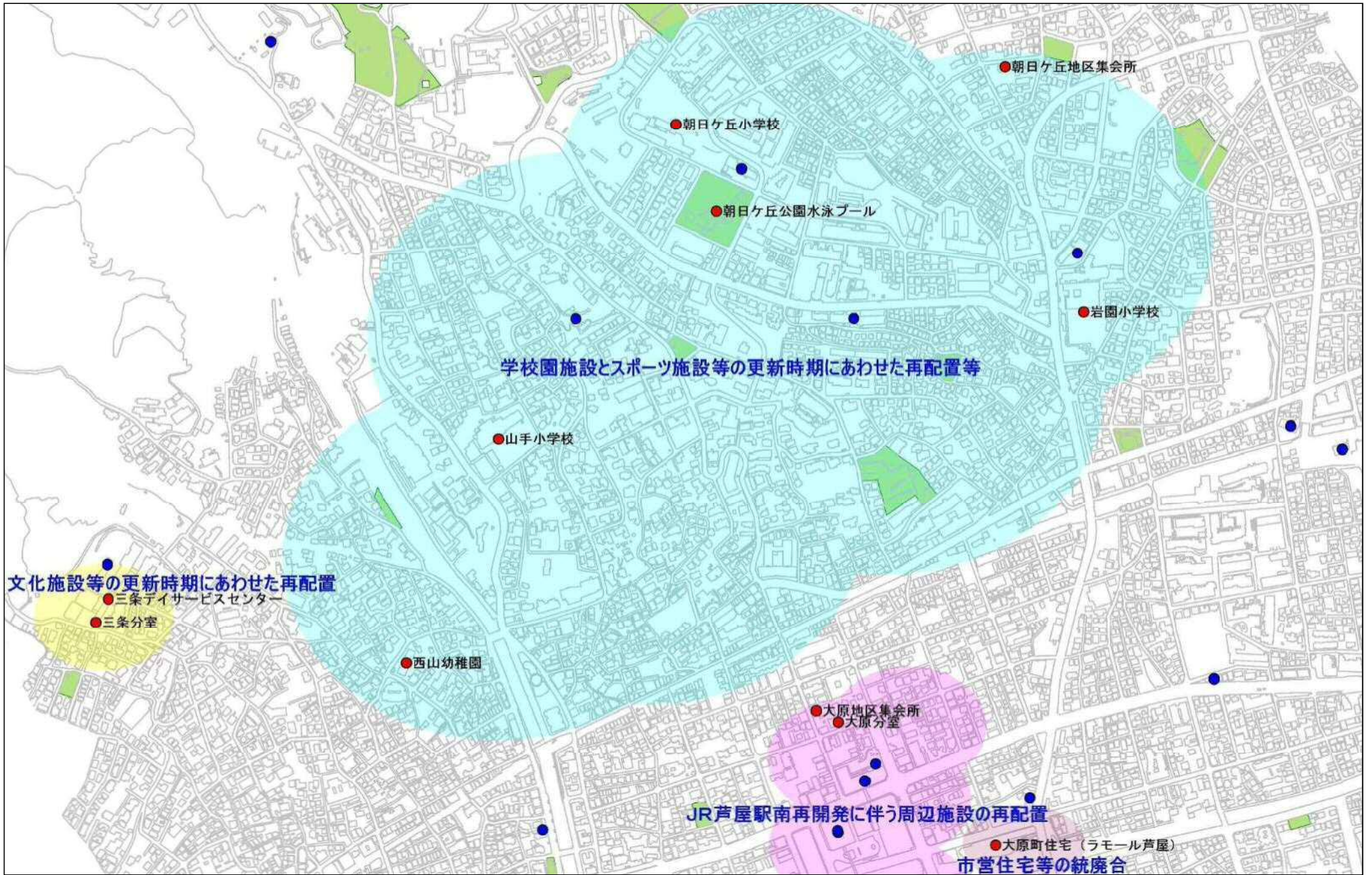
「市営住宅等ストック総合活用計画(令和元年度改定)」に沿った統廃合に加え、計画中間年度では、更なる総量縮減を進めるための改定を検討します。

キ JR 芦屋駅南再開発に伴う周辺施設の再配置

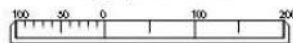
JR 芦屋駅南再開発に伴って、周辺施設の再配置による施設の総量縮減を検討します。

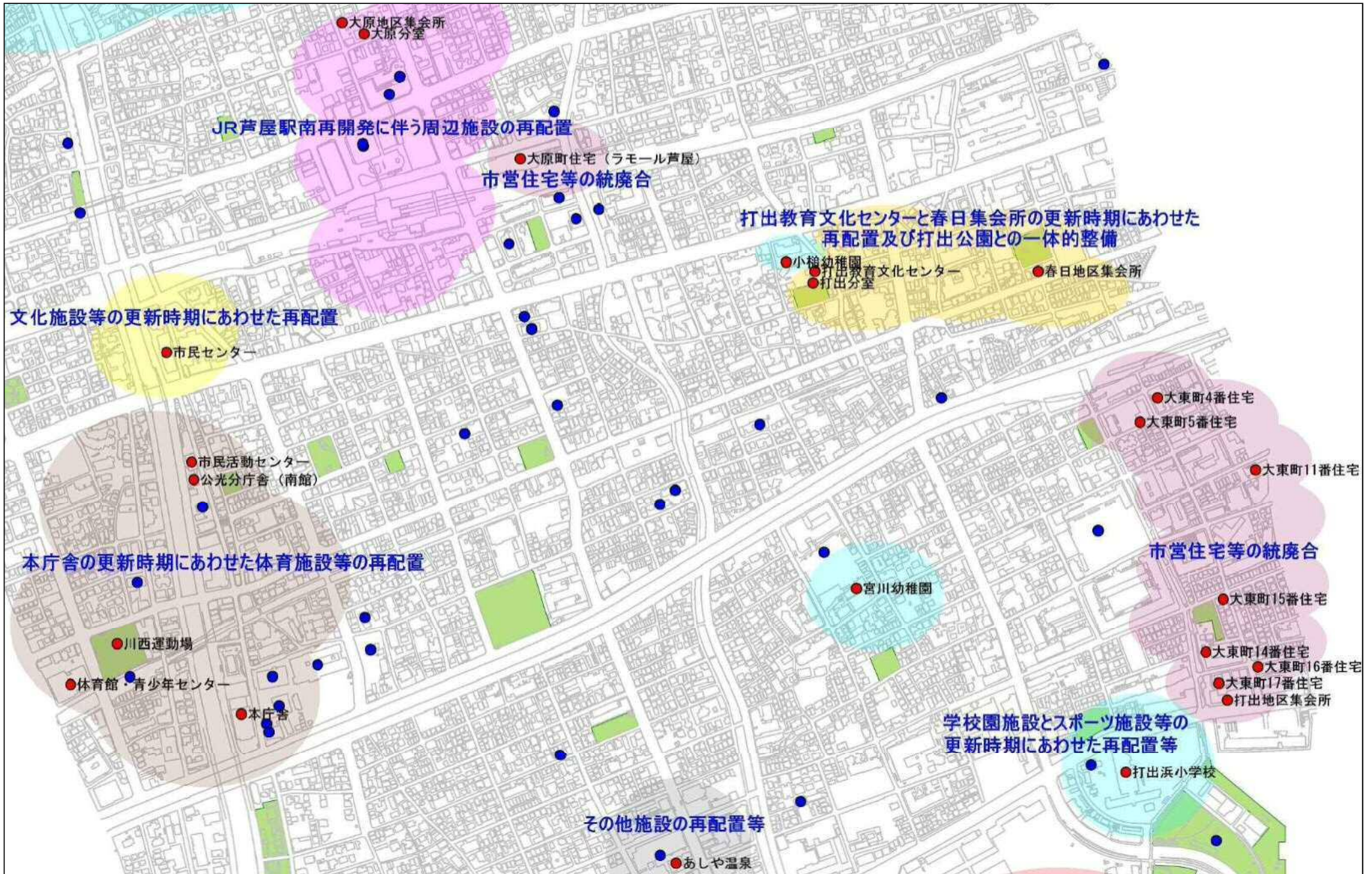
ク その他施設の再配置等

その他施設として、あしや温泉の施設更新は、湯水管施設の老朽化等を勘案して方向性を検討します。また、各地区集会所の施設更新及び運営方法等を検討します。

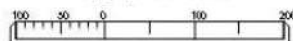


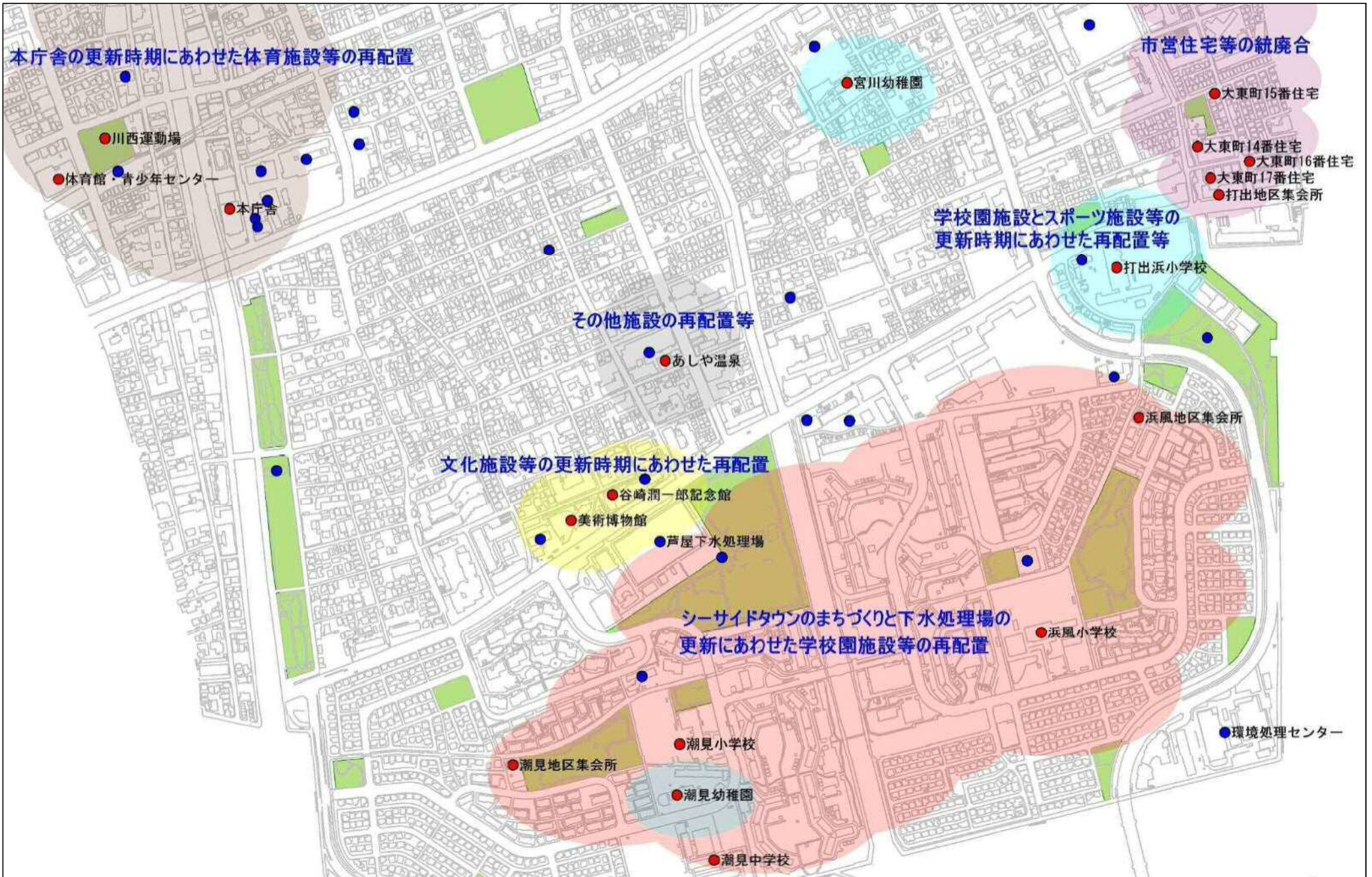
縮尺 1 : 6000



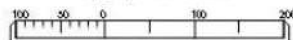


縮尺 1 : 6000





縮尺 1 : 6000





●対象施設一覧

	築年数
朝日ヶ丘公園水泳プール	54年
朝日ヶ丘地区集会所	38年
朝日ヶ丘小学校	48年
岩園小学校	19年
山手小学校	20年
三条分室・三条デイサービス	43年
西山幼稚園	45年
大原地区集会所	58年
大原分室	29年
大原町住宅(ラモール芦屋)	27年
小槌幼稚園	56年
宮川幼稚園	49年
打出教育文化センター・打出分室	30年
春日地区集会所	38年
市民センター	58年
市民活動センター	60年
公光分庁舎(南館)	40年
体育館・青少年センター	48年
川西運動場	67年
本庁舎	60年
大東町4番住宅	24年
大東町5番住宅	24年
大東町11番住宅	24年
大東町15番住宅	27年
大東町14番住宅	24年
大東町16番住宅	32年
大東町17番住宅	29年
打出地区集会所	28年
打出浜小学校	38年
あしや温泉	11年
谷崎潤一郎記念館	33年
美術博物館	30年
浜風地区集会所	35年
浜風小学校	38年
潮見小学校	41年
潮見地区集会所	41年
潮見幼稚園	41年
潮見中学校	41年

●その他の公共施設

縮尺 1 : 6000

